

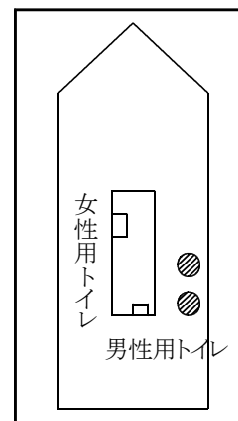
2018年7月14日(土) マイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬  
 大潮:旧6月2日 満潮 14:13(33cm) 干潮 22:37(0cm)  
 満潮 翌日05:46(22cm) 敦賀港  
 自分: マイカ14杯 スルメ 2杯  
 ツレ: マイカ10杯 スルメ 2杯 ムギイカ 1杯

15時30分 現地着  
 17時00分 釣り座のくじ  
 18時00分 釣り開始 パラシュート釣り

22時37分 干潮(0cm:敦賀港)  
 0時00分 納竿

**【マイカ仕掛け】**

- 2018.6.16でスルメイカ釣りで使用したものをメンテナンスして再利用した。
- ムギイカ釣り用に準備していたものを第1投で自分もツレもフグに切られて無くした。代わりに予備用としてマイカ用をもっていたのでそれを使用した。ムギイカではなくスルメイカがマイカ用で50杯ずつ釣れたことから、若狭湾のムギイカ・スルメイカ釣りはマイカ釣り用の仕掛けでよいということになる。
- 浮きスツテ2.5号 上から、赤緑、赤白、エギ、赤緑、赤白
- 一番下は、目立ちやすい色にした方が確認しやすいから、赤白とする。  
 幹糸4号枝間1.2m 上下も1.2m 全長7.2m 幹糸再利用  
 ハリス3号3cm 一部再利用
- おもり 80号 水中ライトなし



**【料金】**

- 船代 ¥12,000 (氷付き)

**【様子】**

- マイカがたくさん釣れだしたので予約した。しかし、さっぱりダメだった。
- 大潮で仕掛けがぶっ飛ぶから、パラシュート釣りとのこと。潮見表では干満にそれほど差が無いのだが…。
- 晴れ。風はほとんどなし。暑かった。
- 日の入り前に、「胴付き仕掛けの人はおもりは80号でやってみてください。」とアナウンスがあった。
- 日没前は、底だと考え、底と底から10mくらいを中心に誘ったがダメ。
- 試しにということで、底から水面までやってみたら、水深12mでスルメがダブルで上がった。戦中で初ヒット。しかし、続かなかった。
- 日没になり、「昨日は16mから10mで当たりがあった。終盤は6mだった。」とアナウンスがあった。
- まわりが釣れだしたが、自分たちはさっぱり。隣の方にどこで釣っていますかと尋ねたら、15mとのこと。

- 早速、15mで止めて誘いを掛けた。当たりがあり、マイカ初ヒット。ツレにも教えた。
- 15mで釣れなくなった。
- 鉛スツテの人も多いが、胴付きと鉛スツテで二刀流の方も多い。
- 右隣(大艦)の二人も二刀流。よく釣っている。その人の釣り方を見て、次のように釣った。
- 置き竿にする。シマノ ビーストマスター3000XPで、一番遅いスピード(スピード1)で巻き上げてくる。ときどき大きくしゃくる。20mから水面までを誘う。
- 隣の方は、ダイワの電動リールだが、ビーストマスター3000XPのスピード1より巻き上げスピードは遅かった。
- キャッチは2018.6.16ムギイカ(スルメ)釣りの釣り方で行った。「2mを2回に分けて落とし、2秒ほど待つ。」今日はキャッチはなかった。
- ツレはずっと底から巻き上げてきた。自分が8杯のとき、ツレは3杯だった。20mから水面までを探っていると伝えてから、釣れだした。
- ツレは、終盤になり、当たりが遠のいたので、底まで釣ったところ、良型マイカが連続ヒットした。船長からは底はスルメと言われていたが、当たりが遠のいたのでスルメを狙うつもりだったとのこと。自分も教えてもらって1杯釣った。その後、当たりが遠のき、納竿の時間となった。

#### 【マイカの釣り方:巻き上げ】

- 置き竿にする。シマノ ビーストマスター3000XPで、一番遅いスピード(スピード1)で巻き上げてくる。ときどき大きくしゃくる。20mから水面までを誘う。
- 隣の方の釣り方を見て、これで釣った。これが良いかどうか研究の余地あり。

#### 【マイカの釣り方:キャッチ】

- キャッチは2018.6.16ムギイカ(スルメ)釣りの釣り方で行った。「2mを2回に分けて落とし、2秒ほど待つ。」
- 今日はキャッチがなかったことから、これでよいか不明である。研究の余地あり。

#### 【マイカ仕掛け】

- 浮きスツテ2.5号 上から、赤緑、赤白、エギ、赤緑、赤白
- 一番下は、目立ちやすい色にした方が確認しやすいから、赤白とする。
- 幹糸4号枝間1.2m 上下も1.2m 全長7.2m
- 下糸「90cm4号+30cm3号:結び目には透明パイプを通す」
- ハリス3号3cm
- これでよいと思う。